

平成 20 年度第 4 回（7 月）理事会議事録案

- ◇ 日 時：平成 20 年 7 月 10 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 35 分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、田畑、高橋、井戸田
出野、山田、宮野、栗本、山西、小宮山、東野、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者：酒井、村上
- ◇ 議 長：今井

【 討議内容 】

I. 行動報告（6 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 医療経営教育協議会第 3 回談話会が当会事務担当で 6 月 28 日に開催される。
- ・ 6 月 20 日までの主な支出は一般会計 6,991 万、出版会計 386 万、精度管理会計 4,472 万であった。一般会計では日臨技創立 55 周年記念会史 1,330 万、共催公益目的事業メタボリックキャンペーン 950 万、永年職務精励表彰者記念品 1,700 万などであった。
- ・ 第 57 回日本医学検査学会の参加者は 3,412 名であった。
- ・ 平成 20 年度日臨技精度管理調査の申込件数は 3,484 件(昨年より 159 増)であった。
- ・ 地区技師会の現状把握のため、「各地区技師会から日臨技支部への移行に対する地区技師会の現状と問題点・要望等の調査」を実施した。

2. 近臨技：7 月 6 日に臨時会長会議を開催。

- ・ 国際部の活動について今後の対応を協議した。
- ・ 日臨技支部化における対応について、富永日臨技副会長から状況報告を受けた。
- ・ 近臨技各部局の構成員を確認した。
- ・ チーム医療研修会を 10 月 18 日の第 48 回近畿医学検査学会に合わせて開催の予定
- ・ 次回理事会を 9 月 10 日に変更、会長会議は 8 月 10 日の予定。

3. 事務局

〈総務部〉6 月 18 日に部会を開催。

[庶務]

- ・ 7 月理事会の開催準備を行なった。
- ・ 賛助会員の対応について検討した。
- ・ 「年輪」の作成について討議した。（「特集」の原稿を各執筆者に依頼した。）
- ・ 新印刷会社について検討した。
- ・ 「大臨技会報（通巻 194 号）」の作成について検討した。
- ・ 「大臨技会員名簿」の作成について検討した。
- ・ 大臨技ニュース「Cool Down」について討議した。

[広報]

- ・ 大臨技ニュース 6 月号発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉6月18日に部会を開催。

- ・ 5月度収支計算書を作成した。
- ・ 日臨技へ5月分会費の送金を行った。

〈渉外部〉6月17日に部会を開催。

- ・ 今年度の献血活動について、当日までの広報および献血推進活動の取り組みについての討議を行う。

①H20年8月9日、②H21年2月14日

- ・ 合同フォーラムの進捗確認
7月1日大臨技事務所にて大放技と打ち合わせを行う予定。
他団体との合同活動についての討議を行う。
- ・ 手話講演会の進捗状況を確認した
- ・ 日臨技公益事業活動への申請について討議した。

4. 事業局

〈情報組織部〉6月19日に部会を開催。

- ・ 収支管理研修会（7月12日）の内容について検討をした。
- ・ 新入会員研修会について内容を討議した。
- ・ 6月24日にチーム医療部会開催
今後のチーム医療のあり方を検討した。

〈地区事業部〉6月19日に部会を開催。

- ・ 第11回大臨技フォーラムの最終打合せを行った。
- ・ 第11回大臨技フォーラムの参加者は138名であった。
- ・ 会員交流会（9月13日(土)）について話し合った。

〈学術部〉6月13日に部会を開催。

- ・ 平成19年度会計監査の報告を行った。
- ・ 次回の第12回大臨技フォーラムの内容について検討した。
- ・ 企画は、第2回緊急検査に関するCPC part2(仮)とし、ストーリー性を考えた内容を、担当する部門にお願いした。

【報告事項】

1. 第11回大臨技フォーラムの報告

- ・ 中央会館の場所が分からなかった。
- ・ もう少しデータ標準化事業の宣伝をし、人員増やす必要があるのではないか。
- ・ 7月からHP上で参加申込をスタートさせるデータ標準化事業について
新たに5施設の登録申請があった。
地区事業部よりネットワークを介し直接メールで、参加申込期限（8月17日迄）等を広報して行く。
大臨技ニュース8月号にデータ標準化事業の案内を掲載予定。

2. 会員交流会の進捗状況

- ・ 9月13日の会員交流会の会場はJICA大阪に決定した。

3. 第4回府民フォーラムの進捗状況

- ・ 日時は確定されたが、テーマについては未定。

- ・ 演者も未確定で9月までには決定の予定で、決まり次第メールで報告する。
4. 第48回近畿医学検査学会について
 - ・ 学会のシンポジウムに合わせて若手にアンケート調査を依頼した。
 - ・ 7月6日現在で演題数40題の申込みがあった。7月31日まで演題募集期間を延長する。
 5. その他
 - ・ 大阪府医師会から大阪府の医療費助成・救急医療・健康福祉施策の後退に反対署名活動のお礼状が届いた。
 - ・ 7月26日に大阪府医師会館にて開催の「医療法人崩壊を阻止する大阪府民集会」へ、大臨技より5名参加することとした。
 - ・ 岩手・宮城内陸地震の義援金を送金した。
 - ・ 茨木市医師会から健康展参加の依頼があった。
 - ・ 日臨技からの書籍「トレビディ」を大臨技備品として備えておく（自由閲覧）。
 - ・ 新規印刷会社を、㈱フジイ・カラーリプロに決定した（9月から対応予定）。
 - ・ 1月17日大放技合同フォーラムの打ち合わせ(今後も2団体で変わらず行っていく)
 - ・ 朝山名誉会員への「名誉会員認定書」を作成する。
 - ・ 大臨技「組織運営規程（平成20年4月10日一部改正）」が作成され「大臨技会報（通巻194号）」に掲載される。
 - ・ 「医療経営人材育成基礎研修」後援依頼における件での問題を機に、今後の対応として後援受理の内部規定を作るかどうかについて総務で検討する。

【 議 題 】

1. 近臨技の支部化について
 - ・ 7月6日に京都で臨時会長会議を開催し、①支部長について、②組織について、③会計について等討議された。
 - ・ 日臨技から6月18日までに支部化についての回答を求めてきたが、即時回答を拒否した。問題点として、支部長の人選方法および権限範囲が不明である。日臨技主導になるのではないかと等が挙げられた。対応案として、支部長は近臨支部が推薦することとした。
 - ・ 今後の予定として、7月12日の全国会長会議で提案。8月10日に近臨技会長会議で討議（役員からの提案があればメール可能）。9月10日の理事会で報告する。
2. その他
 - ・ 大臨技関連の各種研修会・勉強会等の参加費について、役員および担当世話人は大臨技から負担とすることとした。また、役員がこれらへ参加した場合は、公務扱いとし、行動報告に挙げることにした。
 - ・ 大臨技関連の各種研修会・勉強会等における講師料は、会員5,000円、非会員10,000円に統一し、役員が講師の場合も、講師料として5,000円を支給することとした。